

この資料は、令和3年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

「新しい保健体育」では、生徒たちが、多様性を尊重し、共生社会の実現に貢献していくことができるよう、体育分野、保健分野ともに、多様性と共生について考えられる資料を豊富に掲載しました。

表紙は、共生社会の実現を表現



▲表紙

パラリンピックの価値を紹介

平等(公平)…多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる。

▼口絵2

4年に一度開かれるオリンピック・パラリンピックでは、アスリートのすばらしいパフォーマンスはもちろん、国を超えて選手どうしがたえ合う姿やアスリートにまつわるさまざまなエピソードから、多くのことを学ぶことができます。あなたは、オリンピック・パラリンピックから、どんなことを感じるでしょうか。

▶ P.172【国際的なスポーツ大会の役割】

パラリンピックの4つの価値

勇気 Courage 不可能と思われることにも立ち向かい、乗り越えようとする勇気	強い決意 Determination 困難があっても、目標に向けて最後までやむく強い決意
インスピレーション Inspiration 人々に感動と勇気を与える	平等 Equality 多様性を認め、誰もが同じスタートラインに立てることに気づかせる

ナタリア・バルディカさん
生まれつき右肘から先がないハンディがあり、ラケットの芯は針金のくねり部を縫って固定させる。北京大会から3大会連続でパラリンピックとオリンピックに出場した。

伊藤 洋平 鈴木 敬心
走り距離で、世界に一人しかいない110mを走る記録保持者をもつ。

マレク・クバツカさん
アルペンスキー競技場がない出場した選手の中で、ただ一人の金メダル選手。先導するガイドが盲導犬とビビ子からの声を頼りに、金メダルを獲った。

2018年 平昌大会

土田和歌子さん
長野大会アイススレッジスピードレースでメダルを獲得。単行車レースに転向し、アテネ大会5000mで世界タイトルを獲得。日本人で初めて夏のパラリンピックの金メダリストとなった。

口絵 2

スポーツを通じた多様な関わり方を紹介

▼口絵3-4

人と人をつなぐスポーツ

スポーツには、さまざまな壁を超えて人々を結び付ける力があります。白頭楽しんでいる運動やスポーツを、小さい子どもや高齢者など、さまざまな人といっしょに楽しむには、ルールや用具などにどんな工夫をしたらよいでしょうか。

▶ P.52【運動やスポーツへの多様な関わり方】
▶ P.54【運動やスポーツの多様な楽しみ方】
▶ P.174【人々を結び付けるスポーツ】

ふうせんバレーボール
福岡県北九州市で生まれたスポーツ。障がいのある人とない人のハンディレベルを数字で表し、合計で18以下の6人でチームを組む。6人全員がふうせんに触れて相手コートに返す全員参加型。

年齢、障がいの有無を超えて

イモムシラグビー
専用のイモムシのエアを履いて行うラグビー。年齢や性別、障がい、運動の得意不得意に関係なく楽しめる。

ブラインドマラソン練習会
「まずね」とよばれるロープを握り合い、視覚障がいのあるランナーと伴走者がいっしょにランニングを楽しむ。

国々民族を超えて

2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流事業
福岡市の中学生チームがイタリアで開催されたU15野球国際大会に出場し、イタリアチームと交流した。

イタリア中部地震(2016年)の被災地アマトリチーネを訪問し、被災の子どもたちに東日本大震災の復興の様子を伝えた。

スポーツで国際交流
(沖縄県 読谷町)
地域のイベントで、海外の人たちといっしょに、玉入れや綱引きなどを楽しむ。

性の多様性を紹介
セクシャルマイノリティの方の実話
から、「自分らしさ」「その人らしさ」
を尊重する気持ちを育む。

章末資料

2. 性の多様性



- ・P.24【生殖機能の成熟】
- ・P.28【異性の尊重と性情報への対処】

「男性」「女性」という生物学的な性と、「自分は男性である」「自分は女性である」という自分の意識(心の性)が一致しない人がいます。また、自分の心の性と違う性の人に関心をもつ人もいれば、同じ性の人に関心をもつ人もいます。

このように、性についての私たちの心は、とても多様です。



やっくんの場合



- ・生物学的な性：女性
- ・心の性：男性
- ・好きになる性：女性

高2のとき、自分の性のことをクラスの友だちに泣きながら打ちあげたら、すぐに「やっくんはやっくんだから、いいじゃん」といってくれた。それまで10年近く、自分で自分のことが気持ち悪かったし、生きる価値なんてないと思っていたから、「うおおーっ」ってさげびたいくらいうれしかった。ほかの友だちも、「いいんじゃない」といってくれて、ぼくの世界が変わった。生きている価値ってある、と思えるようになったんだ。

渡辺大輔監修、ポプラ社「いろいろな女性、いろいろな生き方③ ありのままにられる社会」より引用

▲p.144

地域の人たちと協力して健康、防災に取り組む姿を紹介

地域の清掃活動

海岸の清掃(富山県黒部市)

歯科医師 医師

病気の診療や治療、予防のための指導などを行う

地域のスポーツ大会

第4回栃木市ウォーキング大会
栃木市ウォーキング大会(栃木県栃木市)

保健師

保健所や保健センターなどで、地域住民の健康相談や指導を行う。

周囲の人と支え合う

社会全体で取り組む

地域の防災訓練

体育館で避難所運営訓練を行う。(青森県青森市)

気象予報士

気象データを分析し、天気や災害を予測して伝える。

地域の防災訓練

消火隊の訓練を行う。(東京都足立区)

消防隊員 警察官

災害発生時は、協力して被災者の

傷害の防止

交通事故や、地震などの自然災害などによる傷害(けが)は、どのような要因が関わり合って起こるのでしょうか。また、傷害の発生を防いだり、症状を悪化させたりしないためには、どのようにしたらよいのでしょうか。

この章で学習すること

- 小学校では、交通事故や身の回りの生活の危険が原因となつて起こるけがの防止、すり傷や鼻血などの簡単な手当などを学習します。
- 中学校では、傷害の発生要因、それらに対応した適切な対策による傷害の防止、応急手当の意義や方法などについて学習します。
- 安全に関する原則や鑑賞に着目して危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現してみます。

保健編 3章

地域の絆は防災の力

高校で学習すること

安全な社会づくり、応急手当(応急手当の意義、日常的な応急手当、応急処置)、労働災害の防止

● 道徳【潔白精神、公徳心】【社会参画、公共の精神】

1. 傷害の発生要因	62
2. 交通事故の発生要因	64
3. 交通事故の危険予測と回避	66
4. 応急手当の防止	68
5. 自然災害による危険	70
6. 自然災害による傷害の防止	72
● 共に生きる(保障)	74
7. 応急手当の種類と方法	76
8. 心肺蘇生法	79

津波から多くの村人を救った
実業家、政治家。1854年12月24日(旧暦11月5日)に起きた安政東海地震の津波が村を襲ったとき、自分の家で隠された箱の裏に逃げ場所を知らせ、この穴を自らに人を誘って安全な場所に避難させた。これを基に作られた物置が福島の穴として知られている。この話に由来して、11月5日を世界津波の日に指定する決議が、2015年に国連で採択された。

▲p.61

中学生が深めた地域のきずな

読み物 高知県黒潮町佐賀中学校では、伝統的に、生徒が一人暮らしの高齢者の家を訪問する活動を行ってきました。しかし、近年は、高齢者施設を利用するために自宅にいなかったり、自宅にいても対応がおっくうだと感じたりするなどの理由で、生徒の訪問を快く歓迎できない人も増えていました。そのような状況の中で、2016年から、訪問するときに、地域防災の視点から、災害発生時の避難経路を中学生と高齢者がいっしょに確認する、自宅の災害対策などを聞き取り、昭和南海地震(1946年発生)のときの体験談を聞かせてもらうなどの活動も行うようになりました。すると、快く話してくれる高齢者が増え、更には中学校の文化祭に来てくれる高齢者の数も増えました。中学生たちも「高齢者と話が盛り上がるようになった」と感じています。中学生が中心となって地域のきずなを深めることに成功したのです。

資料 5 避難ルートを作成する中学生(高知県黒潮町)

▲p.75